

# 岩手県大槌町「官民連携による農業的土地利用に向けた取組の推進」

## 目的・背景

### 町中心部の未利用地活用にあたり、新たな産業を誘致することで、若年層にとって魅力ある就労や活動の場を創出

- 町方地区や安渡産業集積地では未利用地が数多く残り、移住定住促進の重要な要素である若年層にとって魅力ある就労や活動の場の創出が急務。
- 昨年度に町内事業者の関心が得られたブルーベリー農園事業の本格的な事業化に向け、ワークショップによる知見獲得と試験栽培による栽培可否の検証を行う。
- 安渡産業集積地における大規模施設園芸設置を前提とした知見集約を行う。

### 位置図



### 航空写真



## 取組とその効果

- 1 ワークショップの実施と試験栽培の開始による、町内事業者のブルーベリー農園事業に関する知見獲得、町内事業者とブルーベリー農園事業者の連携体制の構築
- 2 試験栽培の植樹式・プレスリリースを通じて、町×町内事業者による新産業創出と未利用地活用に向けた取組を町内外に周知
- 3 大規模施設園芸事業の企業誘致活動・施設事例視察を通じて、町が企業誘致・事業支援における知見を獲得
- 4 大規模施設園芸事業の事業進出・連携の可能性のある企業2社を発掘

### 取組の様子



試験栽培における剪定方法の講習の様子

## 取組経過

- 6～10月 ブルーベリー農園事業者を講師に招いたワークショップの実施。大規模施設園芸事業の事例視察の実施とPR資料の作成。
- 11～1月 試験栽培開始とそれに伴う植樹式の開催・プレスリリースの発信。大規模施設園芸事業の企業誘致活動の実施。
- 2～3月 ワークショップ、試験栽培、企業誘致活動結果を基に、事業化につながる次年度以降のアクションプラン案を策定。

### 取組成果

6. 用地紹介 ～町方地区～

町方地区特徴

- 町方地区は町内中心部に位置するが、地形が起伏に富み、傾斜が急な箇所が多い。
- 上下水道の供給が、全域で安定しているが、一部の地域では供給が不安定な箇所がある。
- 町方地区の中心部に商業地が集中しているが、周辺には住宅地が広がる。

用地A

- 面積: 約10ha
- 用途: 商業・住宅
- 特徴: 町内中心部に位置し、交通アクセスが良好。

用地B

- 面積: 約5ha
- 用途: 商業・住宅
- 特徴: 町内中心部に位置し、交通アクセスが良好。

用地C

- 面積: 約15ha
- 用途: 商業・住宅
- 特徴: 町内中心部に位置し、交通アクセスが良好。

8. 大槌町に進出したい企業の3つの約束

- 事業に人間の労働力だけでなく、AI・ロボットを活用し、生産性を向上させる。

約束1. 事業者負担を減らすための各種ご支援

- 進出にかかる金銭的・時間的負担を減らすため、補助金獲得に向けた調査・町内での支援物資拡充に向けた調整等を積極的に行います。

約束2. 町内での円滑な活動促進に向けた調整

- 町内での活動を一日でも早くかつ円滑にスタートいただけるよう、町内での事業者様と町内企業との相互理解を促進するよう周知を進めます。

約束3. 本町での独自ブランド確立のご支援

- 買社商品の付加価値が少しでも向上するよう、大槌サーモン、大槌ジビエの経験を活かし、買社生産活動による大槌ブランドの確立をご支援します。

大規模施設園芸事業 PR資料（抜粋）

## 今後の方向性

- ① 町内事業者によるブルーベリー農園の事業化に向けた試験栽培の継続と経営計画の策定
  - ② 誘致活動により発掘した事業者と、大規模施設園芸事業進出の実現に向けた協議の継続
- 令和7年度：観光ブルーベリー農園経営計画策定と試験栽培の継続、投資の可否の決定と投資準備。大規模施設園芸誘致企業向けの施策の展開。
- 令和8年度：観光ブルーベリー農園事業公共パイロット農園の完了と民間本格参入。大規模施設園芸誘致事業工場設置計画に基づく補助金申請、立地確定と協定締結等。
- 令和9年度：観光ブルーベリー農園事業の民間による自走開始。大規模施設園芸施設の着工。

事業者	アンケート回答	ヒアリング	今後の訪問
B社	○	○ 7/2	-
E社	○	○ 12/23	-
F社	○	○ 12/17	○
K社	○	○ 12/5	×
L社	○	○ 12/10	○
Q社	○	○ 12/17	-
U社	○	○ 12/13	-
W社	○	○ 12/24	-

大規模施設園芸事業 誘致活動結果



ブルーベリー試験栽培場所一覧